



## ◆春から夏の展覧会

雪解けの季節です。身長より高かった雪の壁がもう足元くらいに低くなりました。この通信がお手元に届くころにはもつと少なくなっていることでしょう。

さて、4月からの新年度、池田記念美術館では様々な展覧会を企画しています。

4月24日から『雨宮一正 収蔵品展』が始まります。雨宮氏は、長野県生まれの彫刻家で東京藝術大学を卒業後、ヨーロッパ各国を巡り制作を続けてきました。最近では2004年から17年まで福岡県築上町で閉校した小学校を使って、地域の美術愛好家に向けた美術講座や個展を開催。今回の展覧会では、ハンガリーやシベリアのスケッチ旅行で描いた水彩画や版画作品も展示します。

6月5日からは『高屋肖哲チャリティー美術展』を開催します。肖哲は狩野芳崖の高弟で、仏画を専門とし、独自の画風を追求した孤高の画家です。今回の展覧会では新たに見



雨宮一正の木彫作品「へあー」

# 池田記念美術館 イケビふれあい通信

2021

春号

No.105

つかった肖哲の作品「十種観音」と金沢美術工芸大学が所蔵する下図など貴重な作品を展覧します。

また、夏には『八海山夢展』もありますので、池田記念美術館の企画展にどうぞご期待ください。  
(広田かおり)

## ◆平成時代のオリンピック写真展

東京オリンピック・パラリンピック2020は紆余曲折がありました。聖火リレーもスタートし、開催に向けて動き出しました。聖火リレーは6月4日に当館のある八色の森公園内のステージにやってきて、その日の最終ランナーが聖火皿に火を灯すセレモニーが行われます。

当館では5月29日から日本雑誌協会報道写真展『平成アスリート戦記―平成時代のオリンピック大会 日本選手感動の記録―』を開催します。1992年のバルセロナ大会から2018年の平昌冬季大会までの日本のオリンピックの雄姿と感動の記録を、迫力あ



シドニーオリンピック金メダルの高橋尚子(2000年)

る報道写真で魅力たっぷりにお伝えします。

また、スポーツ文化展示室ではオリンピックク関連展示を増やし、市内在住者から応募のあった、前回の東京オリンピックの記念の品々も展示します。期間中にはスポーツ写真の撮り方の講座も開催予定です。

「東京2020」はコロナ禍での開催ですが、次世代への希望につながる大会になってほしいと願っています。  
(岡西英孝)

## ◆文化講座のご案内

気持ちの良い季節になると、新しく何かを始めたいという気力が湧いてきます。昨年は当館で開催している文化講座の一つ『フラワーアレンジメント』に参加しました。センスがないので最初はドキドキでしたが、優しく丁寧な指導のおかげで思ったよりも上手に出来上がりました。花に癒されながら、自分で作ったという達成感も味わえてとても楽しい時間でした。今年も6月から8月まで毎月1回、講師の馬場久美子さんが季節の花を使って基本のアレンジを教えてください。

4月からは書家・富所白象さんの『美文字講座 ひらがなを美しく書く』が始まります。5月と6月には、オリンピックなど国際舞台で臨場感あふれる写真を撮影してきたプロカメラマンの長谷部薫さんを講師に『スポーツ写真教室』を開催します。ベーマガスタジアムの一般では入れないカメラマン席で、高校生の試合を撮影体験できます。制限の多い暮らしの中に、穏やかで豊かな時間をつくってみませんか。詳細は当館までお問い合わせください。  
(佐藤良子)

## ◆かわいいお店が登場!

毎年、多くの方からご来場いただいている『雪見展』ですが、今年の冬は残念ながら開催することができませんでした。そこで、年明けよりミュージアムシヨップ

では、雪見展出店者の方による小さな無人の雪見展を開催しています。昨年度、こちらも中止になってしまった『一箱古本市』のように、シヨップの棚を使って7店の小さなお店が出店しています。当初は期間限定でしたが、好評につき、期間を延長して販売しています。一つ一つ手作りでのこもったかわい小物がいっぱい並んでいます。商品の入れ替えや追加もどんどんありますよ。

また、『錯覚展』にちなんで取り揃えた錯覚工作キットは会期終了後も販売します。ハサミを使わず、のりがあれば完成します。雪国の長い冬も終わり、待ちわびた春がやってきます。この春も、そしてこれからも、イケビに遊びに来てくださいね。  
(山口加奈子)

## ◆早春の八色の森公園

まだ雪が残る公園を見渡すと、白い花が目飛び込んできました。八色の森公園の管理事務所に問い合わせたところ、園内に生育している樹木は約50種類。春先の白い花といえば、コブシかタムシバです。どちらもモクレン科。若葉が芽吹く前に6弁の花が開くのですが、コブシかと思うとタムシバだったりして、その区別がなかなか難しいのです。

樹木図鑑で調べると、コブシは花の付け根に小さな葉っぱが1枚ついているが、タムシバにはついていないとのこと。公園にはどちらも植えられていて、注意して観察すると、たしかに違います。散策ついでに木の名前を覚えるのも、ささやかな楽しみですね。

先日は、池の縁をイタチがちよこちよこ走り回っていました。公園でイタチを見るのは初めてだったので、スマホで動画を撮影。いつまた再会できるか、楽しみが増えました。当館では今年度も企画展が目白押しです。コロナ禍にあっても、予定通り開催できることを切に願っています。  
(高橋良一)

# 池田記念美術館【お知らせ】

## ■ワークショップ「かざぐるま」で風と色のアートをつくろう！

池田記念美術館周辺の八色の森公園を舞台に、1,300本以上の「かざぐるま」を設置するワークショップに参加しませんか。3月には雪面に設置しましたが（写真）、今回は、赤、黄、橙、紫、緑、青、紺、ゴールドなど、色とりどりの「かざぐるま」を公園の芝生に飾りましょう。日時については、公園の若葉や芝生の状況、それと天候を見ながら判断し、決まり次第ホームページで詳細をお知らせしますので、ときどきチェックしてください。



## ■スポーツ&ライフ南魚沼「文化教室」 → 申込み、お問合せは、池田記念美術館へ（電話：025-780-4080）

### ●美文字講座ーひらがなを美しくー（全3回） 講師：富所白象さん（書道家）

- ①毎月1回・火曜日 19時～20時30分コース（4/27、5/18、6/15）（定員になり次第、申込みを締切ます）
- ②毎月1回・水曜日 13時～14時30分コース（4/21、5/19、6/16）（定員に達したため、申込みの受付を終了しました）
- ③毎月1回・水曜日 15時～16時30分コース（4/21、5/19、6/16）（定員に達したため、申込みの受付を終了しました）

会場：池田記念美術館 定員：各コース12名 参加費：3,000円

※今後の予定：7月～9月（ペン字）、10月～12月（年賀状）、1月～2月（写経） ※変更などありますので、お問合せください。

### ●季節のフラワーアレンジメント（全3回） 講師：馬場久美子さん（福井屋花店）

日時：毎月1回・木曜日 10時～11時30分（6/17、7/22、8/19）

会場：池田記念美術館 定員：各コース10名 参加費：2,400円+花代8,100円（計10,500円）

※今後の予定：9月～11月、1月～3月 ※変更などありますので、お問合せください。

### ●スポーツ写真教室（全2回） 講師：長谷部薫さん（ベースボール・マガジン社・元写真部）

第1回・講習会「スポーツ写真の撮り方」 5月29日（土）10時30分～12時 会場：池田記念美術館

第2回・撮影指導 6月5日（土）時間は後日連絡 会場：大原運動公園ペーマガスタジアム

定員：12名 参加費：3,000円

※5/29は開催中のスポーツ報道写真展「平成アスリート戦記」の観賞、6/5はカメラマン席で高校野球の試合撮影が体験できます。

## ■4月、5月、6月、7月、8月の休館日

**【4月】** 4月7日（水）、14日（水）、20日（火）～23日（金）、28日（水） ※4月19日（月）は15時閉館

**【5月】** 5月6日（木）、12日（水）、19日（水）、24日（月）～28日（金） ※5月5日（水・祝）は開館、23日（日）は15時閉館

**【6月】** 6月2日（水）、9日（水）、16日（水）、23日（水）、30日（水）

**【7月】** 7月7日（水）、13日（火）～16日（金）、21日（水）、28日（水） ※7月12日（月）は15時閉館

**【8月】** 8月4日（水）、11日（水）、18日（水）、25日（水）、31日（火） ※8月30日（月）は15時閉館

## 公園の中の美術館 池田記念美術館

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐5493-3 八色の森公園内

TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9:00～17:00（入館受付は16:30まで）

【休館日】毎週水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、展示替えによる臨時休館

【入館料】一般 500円 高校生以下無料（団体割引、各種割引あります）

【ホームページ】<http://www.ikedart.jp>



イケビふれあい通信

次号（夏号）は

7月発行予定

アクセス

上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分

関越自動車道大和スマートICより車3分

六日町ICより車15分、小出ICより車10分